

今年も DBJ 金融アカデミーが開講しました

吉田 武志

本欄の第 4 回で「実務家教育と DBJ 金融アカデミー」が紹介されているが、8 年目となるプログラムがいよいよ 5 月 12 日に開講した。筆者は先月から本アカデミーの事務局に加わり、慌ただしく開講の準備を行ってきたところであるが、開講にあたり改めて DBJ 金融アカデミーについて紹介したいと思う。

当行の金融アカデミーは、「新たなビジネスモデルの実現に向けて、高度な金融業務を担う人材を、中長期的な観点から組織的に育成することを目的に、企業金融の基本的考え方や企業価値評価の手法など、金融実務への応用可能性を意識した基礎的かつ実践的な知識を習得するとともに、実務の背後にある金融の本質や考え方について、理論的あるいは学術的知見も借りながら基礎的素養の習得も目指す」ということを基本理念としている。

このアカデミーの強みは、設備投資研究所が長年培ってきた学識経験者ネットワークに基づいた大学の先生方を中心とした講師陣と、7 年に亘って不断の見直しを行ってきた講義内容にある。また、ユニークな特徴として、受講対象を当行若手・中堅クラスの職員に加え、一部講座を地域金融機関や取引先事業会社等の外部にも開放し、両者の相互交流とネットワーク構築の機会としても活用されていることがある(昨年度参加実績：地域金融機関等 46、事業会社等 41)。地域金融機関との具体的な協働も視野に入れた、二泊三日の合宿形式で当行金融法人部と共催している「地銀特別セミナー」も 4 年目を迎える。

今年度のプログラムは、基本講座Ⅰ：6 科目、基本講座Ⅱ：6 科目、選択講座：8 科目、特別講座：4 科目およびゼミ講座：6 科目の合計 30 科目で構成されている。これら全 30 講座のシラバスを掲載した紹介パンフレット「DBJ 金融アカデミー 2015」もはじめて作成された。

今年度のプログラムも、これから 2 月末まで続く 10 ヶ月の長丁場となる。受講生各位の奮闘を期待するとともに、事務局一同も実り多き講義となるよう、運営に全力を尽くしていきたい。また、DBJ 金融アカデミーが、当行の掲げる「金融力で未来をデザインします」の実現に寄与するよう、今後ともプログラムの充実を不断に図っていこうと思う。なお、当アカデミーの詳細はこちらのホームページ (<http://www.dbj.jp/ricf/academy/>) に掲載されている。

2015 年 5 月 18 日